



### 辞令

(1881・明治14)

創立者はそれぞれ仕事を持つかわら、教壇に立ちました。矢代は元老院や貴族院に勤務しながら教育活動を続けました。

### 矢代旧宅地

(鯖江市屋形町)

矢代は鯖江藩の武士の家に生まれました。1870(明治3)年に鯖江藩からただ一人選抜され、上京して大学南校(のちの東京大学)に学びました。矢代は10月9日(太陽暦で11月2日)、ここから徒歩で東京に旅立ちました。



### 委員会規則案・貴族院規則案

(1889・明治22)

矢代は貴族院・衆議院規則の「委員」の項目の起草にあたりました。

## 目で見ると明治大学の歩み

明治大学史資料センター

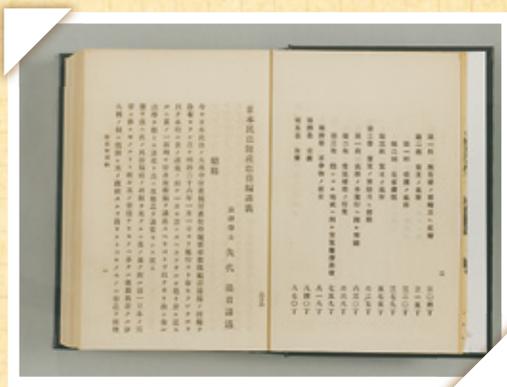


### 創立者・矢代操

明治大学では、2012年に福井県鯖江市に所在する明治大学創立者矢代操(1852-1891)の旧宅地を取得しました。このたび同地に案内板を設置することを記念して、矢代操について紹介します。

(明治大学史資料センター・村松 玄太)

# #58



### 著書『民法財産取得編講義』

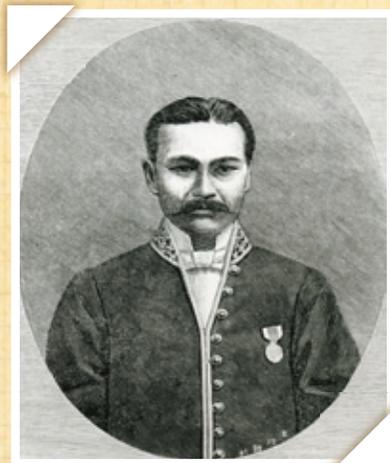
(1892・明治25)

矢代は明治法律学校で民法講座を担当していました。同書は矢代が1891年に急逝後刊行されました。

### 矢代操肖像木版画

(明治期)

矢代の珍しい版画です。「生巧館刀」とサインが見えます。同館は西洋流の細密な木版画(木口木版)を得意としていました。



### 判事登用試験合格者と創立者たち

(1883・明治17)

明治法律学校創立3年後の講師陣と教え子たちです。矢代は中列左端・同じく創立者の宮城浩蔵は中列右から3人目、岸本辰雄は後列左から2人目です。矢代は創立者のなかでもひととき大柄でした。